



株式会社 佐野テック  
代表取締役 佐野 貴代<sup>たかよ</sup>さん

柔軟な発想で働きやすい職場づくりを推進  
「人と社会の幸せを創造する企業」をめざす

新しい理念を掲げて会社を改革  
ワーク・ライフ・バランスを重視

鈴鹿山麓に広がる緑豊かな孤野町。優れた道路環境を活かした「工業団地」が複数立地していることも特徴の一つ。このまちの幹線道路・国道306号沿いに拠点を構える「株式会社 佐野テック」は、主に橋や道路を地震から守る部品をつくる「インフラ事業」と、木造・鉄骨問わず、設計から施工までを行う「建築事業」を手がけ、各分野での新しい取り組みが注目を集めています。その

4代目社長を務めるのが、佐野貴代さん。「人と社会の幸せを創造する企業」という理念を掲げ、時間外労働の大幅な削減や、全員がそろう日は珍しいほど、いつでも有給休暇が取れる環境づくりなど、ワーク・ライフ・バランスを実現することで、従業員のモチベーションを高めています。また、一人の従業員が複数の業務を担うスキルを身につける「多能工化」を推進し、柔軟性の高い組織づくり、業務負担の平準化にもつなげています。

覚悟を決めて自分らしく決断  
心の支えとなった「貴重な経験」

子どもの頃から「自分で手を動かすものづくり」が好きだった佐野さんですが、学生時代、明確な夢はなかったといいます。大学卒業後は、地元の建築設計事務所就職し、約10年間勤めました。「30代になり、自分の将来について真剣に考え始めた頃に、父親から『継がないか?』という話もちかけられました。年々会社は大きくなり、その責任の重大さもわかっていきましたが、覚悟を決めて『やります』と返答しました。入社後は、品質保証室に所属。仕事を必死に覚えながらも、フォークリフトやクレーンなどの資格を取得しました。この期間に、中小企業の活性化を目的にした人材育成を行う『日本創造教育研究所』の研修を数多く受け、経営や簿記だけでなく、人とのコミュニケーション術、組織づくりを学びました。そこで出会った経営者の仲間は、同じ立場だからこそ相談できることもあるし、今でも心の支えになっています。

社長としての苦悩を乗り越える

従業員ともめざす目標

入社から4年目に専務になり、その4年後、社長に就任。「会社を去る人もいましたし、『どうしよう』と悩む日々が続きました。だから、社長としての最初の2年間は記憶がほとんどないんです。でも、『人は皆違う意見を持っている。だから自分に自信を持って行動しよう』という考えに至ってからは、視界が一気に晴れました。

社長として喜びを感じるのは、従業員から「子どもが生まれます」「家を建てます」という報告を受けた時。会社への信頼を感じる瞬間でもあり、そういう報告が年々増えているのはすごくうれしいです。

佐野さんの曾祖父が船鍛冶屋として創業してから今年で92年目。「あと8年頑張れば、100年。事業のレベルアップを続けて、みんなで盛大にお祝いしたいです」。休日の楽しみ

は、20代前半からの「推しアーティスト」ポルノグラフィティのライブに行くこと。楽しいことが大好きで、従業員が企画する親睦会「ATO会」遊ぶ・楽しい・おもしろいの頭文字も「ATO」も全面サポート。いつも笑顔で、豪快な笑い方も「社長らしい」佐野さん。これからも「人と社会の幸せを創造する企業」を発展させていくことでしよう。



Information

※「株式会社 佐野テック」の詳しい情報は、公式HPをご覧ください。



1. 広大な敷地も「働きやすさ」の一つ  
2. 「ATO会」の企画メンバーと楽しく談笑